

次期愛知県地域保健医療計画における2次医療圏設定について

1 医療体制部会（2月14日開催）で承認いただいた次期医療計画の2次医療圏の考え方

- (1) 原則として構想区域を2次医療圏とする。従って、名古屋医療圏と尾張中部医療圏については、1つの医療圏とする方向で圏域の意見を確認する。
- (2) 東三河北部医療圏については、国の考え方や広域連合の動きなども踏まえ、圏域の意見を聞いた上で判断する。

2 圏域保健医療福祉推進会議における2次医療圏に関する意見

医療圏	開催月日	意見
名古屋	2月20日	○ 尾張中部医療圏と統合することについて異論なし。
尾張中部	2月28日	○ 名古屋医療圏と統合することについて異論なし。 ○ 老人福祉圏域については、介護福祉サービスの内容が大きく変わる可能性があるため、現状の圏域がよい。
東三河北部	2月23日	○ 以下の理由等により東三河南部医療圏と統合することについて、時期尚早であり、 反対 である。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広大な過疎地域を抱え、へき地医療を始めとする独特の医療課題がある。 ・ 統合をすれば本医療圏の問題点が埋没してしまう。 ・ 現医療圏での医療機能を充実させながら、東三河広域連合の下での介護事業に取り組んでいくべきである。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○ ただし、一部の構成員から、以下の理由等による医療圏統合やむなしの意見もあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者が圏域を超えて往来しており、理論上の2次医療圏と現実の乖離が大きい。 ・ 基幹病院である新城市市民病院の医療提供体制が不十分である。 </div>

3 次期医療計画における2次医療圏（案）

- (1) 名古屋医療圏と尾張中部医療圏については、統合して1つの医療圏とする。
- (2) 東三河北部医療圏については、圏域の意見を踏まえ、現行の2次医療圏とする。
ただし、今後の老人福祉圏域の設定も踏まえ、次々期の見直しに向けて、東三河南部医療圏との医療圏及び構想区域の統合の適否について議論を深めていく。

〈現行の2次医療圏図〉

